

やすらぎ通信

平成 30 年 春彼岸

発刊不定期 横浜やすらぎの郷霊園管理事務所 〒241-0802 神奈川県横浜市旭区上川井町 1749-1
☎045-924-0210 FAX:045-924-0239 URL: y-yasuraginosato.jp Eメール: info@y-yasuraginosato.jp



↑河津桜と白木蓮→



ランンキュラス (事務所前)

■花まつり

4月8日(日)はお釈迦さまのお誕生日です。
4月6日(金)～8日(日)まで花御堂を飾りお誕生仏をお祀りします。
是非お参りにお越し下さい。甘茶のサービスもありますよ。



■合同合祀慰霊祭

萬霊塔「やすらぎの塔」への合同合祀慰霊祭を執り行います。

【4月10日(火) 午前11時～】

永代供養墓「善光寺やすらぎの碑」へ埋骨後、合祀時期となった御霊のご供養です。
やすらぎの郷霊園に墓地所有の方で合祀ご希望の方のご相談も承ります。

■お盆供養についてのご案内

お盆のご供養を下記日時にて善光寺に於いて執り行います。

盂蘭盆施食会(うらぼんせじきえ): 各回400名前後の方々が一同に会してのご供養となります。

6月30日(土) 午前10時30分～・午後2時～

※法要後はやすらぎの郷霊園へ墓参用バスがあります。

◎案内ご希望の方はやすらぎの郷霊園管理事務所又は善光寺へご連絡下さい。

■^{ごえいか}御詠歌教室のご案内

講師 曹洞宗梅花流特派師範 渡邊清徳老師(栃木県高徳寺副住職)

予定 4月26日(木) 5月22日(火) 各回: 午後2時～3時30分

◆百花繚乱 (ひゃっかりょうらん)

冬季オリンピック・パラリンピックが韓国ピョンチャンの平昌で行われました。オリンピック日本選手団主将、スピードスケートの小平奈緒選手が開会前に『百花繚乱』を目標として掲げていました。百花繚乱とは種々の花が咲き乱れることから転じて優れた人や優れた業績などがたくさんあらわれることをいいます。この言葉通り多くの競技でたくさんのきれいな花々が咲き誇りました。

「花無心にして蝶を招き、蝶無心にして花を尋ぬ」(良寛)

選手たちは多くのものを犠牲にしながらもただひたすらに競技に打ち込み無心にその花を咲かせてくれました。それを見て自然に湧いてくる感動を味わいました。



念ずれば花開く
坂村真民

念ずれば
花ひらく
苦しいとき
母がいつも口にしていた
このことばを
わたしもいつのころからか
となえるようになった
そうしてそのたび
わたしの花がふしぎと
ひとつひとつ
ひらいていった



『念ずれば花ひらく、坐すれば道ひらく』(坂村真民)

『坐』とは坐禅の坐。心静かに自分自身を見つめることでもあります。椅子坐禅や瞑想、呼吸法、マインドフルネス等も体験するとすっきりとした気持ちになります。

生きてゆく力がなくなるとき
坂村真民

死のうと思う日はないが
生きてゆく力がなくなることがある
そんなときお寺を訪ね
わたしはひとり
仏陀の前に坐ってくる
力わき明日を思うところが
出てくるまで坐ってくる

「わが心深き底あり、喜びも悲しみの波も届かじと思ふ」
(西田幾多郎)

何かと慌しく忙しくしている日常だからこそ自分自身を静かに見つめる時間を大切にしたいものです。不安や苛立ち等の感情に心を支配されていませんか。仕事や家庭での様々な出来事が風のように心に吹きこんで、『喜怒哀楽』の感情が波のように心を揺れ動かします。外からの風に心が乱れ受け止められないことはないですか。

坐禅は『安楽あんらくの法門ほうもん』(道元禅師)と云われます。感情の波に流されずに、命を感じる時間を共に過ごしましょう。

◇坐禅会のご案内

- 善光寺
 - ・朝いち禅 毎週月曜日～金曜日 午前6時半～7時半
 - ・早朝坐禅会 毎月第1日曜日 午前6時～8時
 - ・日曜坐禅会 毎月第4日曜日 午後2時～4時半
- やすらぎの郷
 - ・寺子屋 毎月第1日曜日 午後2時～3時

※その他、団体研修などご希望の方はご相談承ります。
詳しくはお気軽にお問合せ下さい。

◆「明日死ぬかのように生きろ・永遠に生きるかのように学べ」

小平奈緒選手が今シーズン開幕にあたりガンジーの言葉を引いて述べられた抱負です。一見矛盾するのように見えますが、限りある命をどう生きていくかを明確に示しています。

お寺には木版と呼ばれ、木槌で叩いて音を鳴らし合図をする板があります。その板には次のような文字が記されています。



生死事大 (生死の事はもっとも大切だ)
 無常迅速 (無常の風は迅速である)
 各宜醒覚 (皆、よく目覚めなくてはいけない)
 慎勿放逸 (慎み、そして怠けてはいけない)

Great is matter Birth and Death
 Life is firsting gone gone
 Awake Awake each one
 Don't waste this life
 (サンフランシスコ禅センター発心寺の木版より)

学びは永遠。修行と修業の違いをわかりますか？
 修業は一つの業を修め、修得すること。修得すれば卒業があります。修行は行いを修め続けて行くこと。修行に終わりはないのです。永遠です。行いを続けて行くことが修行。皆さまは何を学び、何を行いつけていきますか？

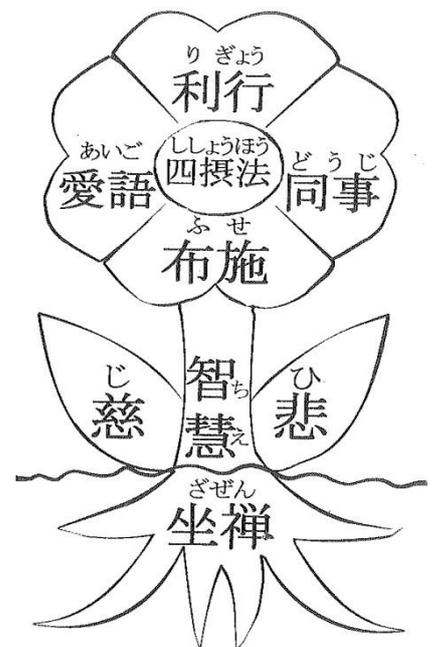
仏教徒であるならば、仏道修行。仏としての行いを続けること。お釈迦様のご人格のようなゆるぎない安らぎの心で生きていくことに憧れて、その教えを実践していくこと。わかりやすい言葉で言えば幸せに生きていく。その為に学び、行いつけていくのですね。

◆曹洞宗の修行の根幹は坐禅です。

『坐禅』によって調べられた自己の心には物事を正しく見る『智慧』と共に喜び共に悲しみをわかち合う『慈悲』が育ちます。

そして目に見えない『智慧』と『慈悲』を、目に見える形であらわす修行が次の四つの徳目、四摂法です。

ししよつほつ 四摂法
 『布施』 まごころを与えよう ただ与えよう
 布施というは貪らざるなり、へつらわざるなり
 あいご 『愛語』 思いやりの言葉を口にしよう
 愛語よく廻天の力あることを学すべきなり
 りぎょう 『利行』 他の喜びを我が喜びとする
 利行は一法なり普く自他を利するなり
 どうじ 『同事』 相手の身になって自他の垣根をつくらぬ
 やわらかなる容顔をもて一切にむかうべし
 (修証義第四章 発願利生)



上のイラストは曹洞宗特派布教師 宮城県石巻市広瀨寺奥野昭典老師が考案された四摂法の花です。

これからも一人ひとり素敵な花を咲かせて参りましょう。それぞれがオンリーワンの花を……。

※今号は3月のやすらぎ寺子屋のレジュメを中心に紹介致しました。

◆舞い散る花々に思ふ

日増しに暖かくなり桜の開花が楽しみになりました。
やすらぎの郷霊園周辺にも桜の名所が幾つもあります。若葉台や海軍道路、三ツ境から西部病院へ続く野境道路もきれいですね。道路の両側に植えられた桜の大樹がトンネルを作るように咲き誇ります。開花からあっという間に満開になり、数日で風に舞い散るさくら吹雪。そのいずれの姿も我々を楽しませてくれます。

お経に次のようなお話があります。(維摩経 観衆生品)
ある時、お釈迦様やそのお弟子さまたちのもとに天女があらわれて花びらを振り灌がれました。はらはらと舞い散る花びらはそこにいた人々の頭や肩、衣などに降りかかります。お釈迦様にふりかかった花びらはすーと落ちていきますが、お弟子さまたちにふりかかった花びらは衣に張り付いて離れません。
懸命にそれを叩いて払いのけようとするお弟子さまたちの姿をみて天女が笑いながら尋ねます。「なぜ花びらを振り払おうとするのですか」
お弟子さまは答えます。「この花びらがついたままでは、出家してお釈迦さまの教えを学び、修行をしている者の決まりに反することになるからです」
それを聞いた天女は「花びらが出家者にふさわしくないと分別しているのはあなた自身ですね。あなたが自分で『ふさわしい』『ふさわしくない』と分別をしているにすぎません。」
「お釈迦さまは分別から離れなさいと教えられているのにあなた方は『こうあるべき』という価値観で凝り固まっているから花びらが離れないのですよ」と諭されたという内容のお話です。
さくらの花びらを体を受けながら思い出したいお話です。

私達が普段使用する『分別』とは、理性で物事の善悪・道理を区別してわきまえること(広辞苑)とあり良い意味で使われている言葉ですが、仏教では分別よりも分別を超えた無分別を大事にします。これは、分別とは物事を相対的に分けて考え、善悪や優劣、長短、大小など比較して判断をします。この比較する心が差別を生み、『あるがまま』に物事を観る事ができなくなると説かれます。先入観、固定観念が悩みをつくるもととなります。

『花は愛惜に散り 草は棄嫌に生うる』道元禅師のお言葉です。(正法眼蔵 現成公案)
分別から離れ無分別から起こる智慧を大事にしないといけないとわかっているにもかかわらず、花が散ればなんとも惜しい気がしますし、雑草は生えて欲しくないと思っているような場所に目立って生えている気がしてきます。本当は花も草もこちらの気持ちを考えて存在しているわけではないのですが、受けとめる私達の心が自分を中心に考えしまうのです。
その自分を中心に考えてしまう心の癖を少しでも直す方法がお釈迦さまの教えを実践していくことです。

時期がくると桜をはじめ咲き誇る花々。その自然の有り難さに感謝して『あるがまま』に楽しみたいと思います。

合掌

編集後記

◆突然ですが、『ヤドリギ』って知っていますか？ 霊園F区上にある山桜の枝に鳥の巣のように枝葉が密集したものが数年前からあり、鳥の巣にしてはおかしいなと思っていたところ、木に寄生する植物『ヤドリギ』ではないかと言われびっくり。『宿り木』とも書くようです。クリスマスリースの材料にもなるとか…。詳しくご存知の方、教えて下さい。

